



士別ロータリークラブ会報

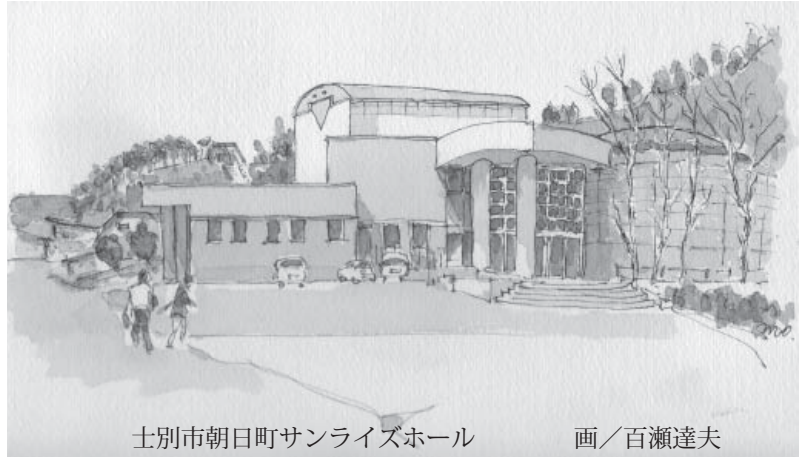
創立 1960・3・24 RI 第 2500 地区

Vol. 039 No. 2181



率先しよう

2006～2007年度 RI 会長
ウィリアム ビル・ボイド



士別市朝日町サンライズホール 画/百瀬達夫

第 2260 回例会 2007年5月28日(月)

本日のプログラム

夜間例会 (夫人同伴例会)

例会場/士別グランドホテル
例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
事務所/士別グランドホテル

TEL 0165-23-1234

会長/大塚 勝人
副会長/野崎 英男
幹事/菊地 博

■前回(5月21日、月曜日)の記録■

・普通例会(卓話:今井忠則会員)

司 会 若森 孝 会場監督

斉 唱 奉仕の理想

本日の出席 出席率 75.7% 会員 66 名中 出席者 50 名

本日の欠席 足利光治、阿達 勇、扇谷雅樹、加藤 博、川原一夫、黒田康敬、汐川康晴、
武田吉夫、田中義博、中川涼一、鍋島 秀、百瀬達夫、山本 栄、山本俊一、
渡辺正一、中村徹雄

メイクアップ

ビジター

ゲスト

ニコニコBOX 江端捷浩(次男 東京にてご結婚)

武田 修(第1回パークゴルフ同好会優勝)

累計 388,000 円

例会予定

5月

5月 7日(月) 普通例会・理事会
5月 14日(月) 普通例会
5月 21日(月) 普通例会(卓話:今井忠則会員)
5月 28日(月) 夜間例会(夫人同伴例会)

6月・ロータリー親睦活動月間

6月 4日(月) 普通例会・次年度理事会
6月 11日(月) 早朝例会
6月 18日(月) 普通例会(卓話:谷温恵会員)
6月 25日(月) 夜間例会・理事会(本年度最終例会)
6月 3日(日) IM(下川)

■会務報告 大塚勝人会長

●先週、山本栄会員のお見舞いに行ってきました。元気そうに見えたのですがお話を聞きますと、10万人に数人という難しい病気であり、現在の治療は薬を試しながら飲んでいっているような状況です。副作用があり睡眠時間が2時間程度の時もあり今は睡眠薬をのんでいるようです。体重が減ったようですが食欲があり塩分の少ない食事でも量が足りないと言っていました。少し弱気な話もしていましたが頑張っしてほしいと思います。テレビと読書の退屈な入院生活をしているようなので、皆さん是非様子を見に行行って欲しいと思います。

●17日に第4回クラブ協議会を開催しました。今年度の各委員長より今年度事業の報告と反省、そして次年度への申し送りをしていただき、本山会長エレクトには次年度の活動所信の一端を説明していただきました。各委員長予定者の皆様には充分理解され協議会を終了したと思います。

●18日に士別自衛隊後援会の総会に出席してきました。総会の後名寄駐屯地指令早淵 昇氏の「省移行と陸上自衛隊」と題した講演があり、その後の懇親会にも参加してきました。

●20日士別ワンパクフェスティバルに来賓として参加してきました。子供達が主体的に企画準備し開催されたのですが、一生懸命に日頃の練習の成果を発表している姿を見てみると、私達大人が子供達から元気を貰ったような気が致しました。頑張れわんぱくと言う思いで帰って来ました。

■幹事報告 菊地 博幹事

①5月14日の例会でもお願い致しました、6月3日下川町で開催されます、IMについてですが、都合で出席出来なくなりました方につきましては、本日の例会終了まで幹事までご連絡をお願い致します、バスの手配が有りますので、ご協力をお願い致します。尚、6月3日(日)当日は、12時に当会場グランドホテルを出発致しますので、ご協力をお願い致します。また大変失礼かと思いますが、早くからの登録のお願いでありましたので、各テーブルに参加登録名簿を置いて御座いますので、ご確認をお願い致します。

②本日の例会、各委員会報告終了後、野崎副会長より本年度の、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー・ピンの贈呈並びにポール・ハリス・フェローの認証状とメダルの贈呈式を執り行います、贈呈をお受けになります方に心から感謝とお礼を申し上げます。

③本日1時より士別市教育委員会におきまして、19年度合宿の里士別推進協議会幹事会が開催されます、この役割は、幹事が担当する事になっておりますので、出席をして参ります、また明日は、午後6時30分より市文化センターにおきまして、19年度士別国際交流協会総会が開催されます、当クラブからは、本年度国際奉仕委員会佐藤安司委員長さんに代わり、次年度国際奉仕委員会神田英一委員長さんにご出席を頂き担当して頂く事に致しました。

★次年度報告

◎千葉繁夫次年度幹事

①17日の新旧クラブ協議会お疲れ様でした。各委員長は2007～2008年度、活動計画書を5月30日迄に提出をお願い致します。

②理事会を6月早々に開催の予定をしていますので、よろしくお願ひします。

③ロータリー手帳を申込頂いている会員は次回例会に料金を集金致しますのでよろしくお願ひします。

★マルチプル・ポール・ハリス・フェロー・ピンの贈呈並びにポール・ハリス・フェローの認証状とメダルの贈呈式

◎マルチプル・ポール・ハリス・フェロー・ピンの贈呈 大塚勝人 会長

◎ポール・ハリス・フェローの認証状とメダルの贈呈 谷 温恵 会員



◆プログラム

◎神田委員長班

各テーブルに新聞のコピーが有ると思いますが、

士別市の現状並びに関わりを本日今井忠則会員に卓話をして頂きますのでよろしくお願い致します。

◎今井忠則会員

士別市の財政状況のお話と言うよりも、今、日本がどのような状況に有るかと言うことを中心に話をしたいと思います。

テーブルに有ります資料はご覧のように、5月1日付の日本経済新聞です。今テレビをつけますと、夕張市又はそれに関わる色々な自治体が危機に瀕していると言うニュースが絶え間なく報道されています。夕張は一つの象徴であり、全国の9割以上の自治体が危機感を持っています。財政の健全化の方策を国が示しつつあると言うのがこの新聞です。財政再生団体(夕張の様な破綻をした自治体)、多少見所の有る団体は自主再建と言う形で財政健全化団体に移行する。その判断材料はここに記載されています、1～4迄の数値であります。このような比率と言うものは一般市民には目には触れにくいものであり、しかもここに記されています示評と言うものは今まで無かった批評が沢山含まれています。この示評では説明が十分に説明されていませんが、どれだけの数値を示す様に成った場合に危険ラインに成るかと言うことはまだ数値としては確定されていません。と言うのもこの制度は2008年度の決算で有りますので、今決算が公にされていますのは2005年度の決算で有ります。2006年度の決算は市の場合は5月31日に会計が閉められますので、その後秋口までに決算が確定しますので、これから2年後に成ると言うことでご判断下さい。

士別市ではこれから10年後に向けての新しい基本計画を練っている最中で有りますが、計画を立てて、実施に移し、効果を見定める、と言う3つが備わっていないと、これは地方自治のみならず企業に於いてもこの3つは大事だと思います。

市町村合併の歴史は明治22年頃に日本の市町村の数は71,000以上有ったそうではありますが、最初に明治の大合併と言うものがありましてそれが15,800位になり約5分の1になりました。戦後、昭和の大合併(昭和28年)9,688が昭和36年は3,472で3分の1になりました。今回の平成の大合併では3,232あった市町村が1,820になり、しかも国は1,820と言う数値を1,000にしたいようです。

自治体が改革を進めて行く中で基本的に考えて行かなくてはならない事は、幾つか有ると思いますが、今までの常識と言うものは、パブリックな仕

事は官がやる。これが今までの公務員の考え方で有ります。例えば、欧米では公共の仕事の中で民間が対応しきれないものを官がやる。と言う考え方が欧米では常識的に成りつつあります。自治体の責任・住民の責任は色々な面でも責任をシフトする考え方であり、果たしてそのように成るのか。官から民へ・国から地方へと言う流れが有ることは間違え有りませんが、その考え方を進めて行ったと言うことは何があるかと言うと、国の財政危機と言うものがあると言うことは間違えのないことであります。地方が二百兆円、国では八百二十兆円と言う数字が示されています。いわゆる積極財政と称して第一次オイルショックの後に国が赤字国債を発行するように成ってそれが貯まって今の状況が出てきています。赤字国債は少なくしつつありますが、これを無くして国家の収支のバランスを取るところまで行って国家の財政



がまともに動く事に成ります。このような赤字を抱えた中で諸外国に財政支援を行っていると言う矛盾した行為を行っています。これを打破するために何をしたらよいかと言うことで言われていますのが、三位一体の改革論であります。

国がすべて抱え込むと大きな組織体ですので、ブレーキをかけてハンドルを切り始めましてもなかなかそこに動いて行くには時間がかかります。国が全てを関与すると言うことがこれからどうなのか、特に世界はどんどん変わっています。昔、20年・30年で考えられたことが、3年・5年で大きく変わってきます。このような時期に我々は色々な面での判断基準と言うものを色々な資料から読み明かしながら自分なりの判断をこれから持たなければ成らない時期が来ていると思います。